

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 16 年 12 月 9 日 (2004.12.9)

【公開番号】特開 2002-163238 (P2002-163238A)

【公開日】平成 14 年 6 月 7 日 (2002.6.7)

【出願番号】特願 2000-360397 (P2000-360397)

【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 15/16

G 0 6 F 9/46

G 0 6 F 15/177

【F I】

G 0 6 F 15/16 6 1 0 Z

G 0 6 F 9/46 3 6 0 B

G 0 6 F 15/177 6 7 4 A

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 12 月 19 日 (2003.12.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】情報処理 プログラムを記録した記録媒体

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のプロセッサを有する計算装置に対して、所定の情報処理を実行させる プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、  
コンピュータを

実行対象となるプログラムを複数の並列処理ブロックに分割する並列処理ブロック分割手段、

前記並列処理ブロック分割手段によって分割された並列処理ブロックを、前記複数のプロセッサのそれぞれに分担して処理させるための基本処理単位であるスレッドに分割するスレッド分割手段、

所定のプロセッサにおいて、前記スレッドの実行が終了した場合には、次の並列処理ブロックの実行を指示する指示手段、

として機能させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 2】

複数のプロセッサを有する計算装置に対して、所定の情報処理を実行させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、  
コンピュータを、

複数の並列処理ブロックに分割された実行対象のプログラムの所定の並列処理ブロックから実行要求がなされた場合には、複数のスレッドを生成し、各プロセッサに処理を分担させる処理分担手段、

何れかのスレッドの処理が終了した場合には、次の並列処理ブロックに係るスレッドの

実行を指示する実行指示手段、

として機能させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 3】

前記実行指示手段は、前記実行対象となるプログラムに所定の指示がなされている場合には、全てのスレッドの処理が終了するまで、次の並列処理ブロックの実行を指示しないことを特徴とする請求項 2 記載の記録媒体。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は情報処理プログラムを記録した記録媒体に関し、特に複数のプロセッサを有する計算装置に対して、所定の情報処理を実行させる情報処理プログラムを記録した記録媒体に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、以上のような点に鑑みてなされたものであり、プロセッサ資源を有効活用することにより、処理時間を短縮することが可能な情報処理プログラムを記録した記録媒体を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】

本発明では上記課題を解決するために、図 1 に示す、複数のプロセッサ（プロセッサ群 4）を有する計算装置に対して、所定の情報処理を実行させる情報処理方法において、実行対象となるプログラムを複数の並列処理ブロックに分割する並列処理ブロック分割ステップ 1 と、並列処理ブロック分割ステップ 1 によって分割された並列処理ブロックを、複数のプロセッサのそれぞれに分担して処理させるための基本処理単位であるスレッドに分割するスレッド分割ステップ 2 と、所定のプロセッサにおいて、スレッドの実行が終了した場合には、次の並列処理ブロックの実行を指示する指示ステップ 3 と、を有することを特徴とする情報処理プログラムを記録した記録媒体が提供される。